

は じ め に

日本経済は、平成24年末より持ち直しに転じて、デフレ状況ではなくなる中、経済の好循環が回り始めています。平成27年度は、新興国経済の減速などの影響を受けて生産面での弱さや家計の所得から個人消費への波及の遅れがみられましたが、設備投資の持ち直しの動き、雇用・所得環境の改善も続き、緩やかな回復基調が続いています。

そのような中、平成27年の県内経済を振り返ると、緩やかに持ち直していたものの、消費税増税後の落ち込みからの回復が鈍く、中国をはじめとする海外経済の減速などの影響も加わり、一部に弱い動きがみられた1年でした。

本書は、平成27年のデータを中心に、就業構造や労働市場の動向、労働条件、勤労者を取り巻く現状、職業能力開発、労働安全衛生、労使関係など、県内の労働経済の動向を分析し、コンパクトにまとめたものです。

日々変動する経済状況を各種統計データを活用して分析し、県内の労働者を取り巻く環境を明らかにすることは、時勢に応じた適切な労働施策を展開していく上で必要なことであり、これらをわかりやすく県民の皆様に周知することも重要であると考えております。

本書を、労働問題を考える際の資料として広く活用していただければ幸いです。

最後に、本書作成にあたり、調査や資料等の提供に御協力いただきました関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成29年 3 月

新潟県産業労働観光部労政雇用課